

# きらめき

北斗市立大野中学校  
研 究 部  
第 1 号  
2018.4.26

「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり

～資質・能力の「三つの柱」の育成を目指して～

【めあて】昨年度を振り返り、今年の研究主題を確認しよう。

## 4月校内研修内容

- 生徒交流
- 本年度の取組について  
研究概要ほか
- 全国学力学習状況調査  
自己採点の全体結果より

### ●昨年度までの振り返り

- 板書に「学習課題」・「まとめ」を活用している。
- 学習の約束について指導している。
- 家庭学習の方法について具体的に指導している。
- グループやペアでの活動形態を取り入れている。
- 役割や責任を生徒に意識させたペアやグループ活動を行っている。
- ピアサポートやクラス会議など関わり合う場を意図的に作っている。
- ICT機器を効果的に活用している。

### 特別支援コーディネーターの上原先生から

- ・「出来る」状況作りを行っていく
- ・合理的な配慮が必要
- ・その人がその人なりに出来る状況を作り出すこと



### 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり

～資質・能力の「三つの柱」の育成を目指して～

- ①育成を目指す資質・能力の設定と共有  
⇨何ができるようになるか・何を学ぶか
- ②「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善  
⇨どのように学ぶか
- ③学校評価の充実  
⇨何が身に付いたか

### 【「見通す・振り返る」活動の充実】

国語科における学習内容を各教科の学習活動に生かしていく。

理科であれば…

- ◎検証方法を討論しながら考えを深め合う学習活動
- ◎科学的な概念を使用して考えたり説明したりする学習活動
- ◎様々な資料から必要な情報を取り出し、科学的な思考、表現をする学習活動



今年度もよろしくお願ひします。

(私も主体的に通信書いてみました)